

「第3回アドバイザー会議」における評価区分及び評価内容

調書番号: 7 事業名: 海外展示会出展支援事業費

アドバイザー	評価区分	評価内容
小口アドバイザー	「要改善」	<p>今後は、海外展示会への参加によるその企業の経営向上、業界全体の活性化を意識した支援となるような改善が必要である。</p> <p>事業が5年を経過しているため、実施主体のやまなし産業支援機構には、海外展示会への参加について様々なノウハウが蓄積されてきている。そのノウハウを活用して、企業に適した展示会の選定、出品の仕方、展示会終了後のフォローなど補助金を交付するだけでなく、全体に関わる様々なアドバイスを加えた総合的な支援の展開により、企業の経営向上を図って頂きたい。同時に個別の企業だけの問題ではなく、出展企業の成功事例を他の企業に紹介するなど、業界全体の活性化に繋げて頂きたい。</p> <p>また補助金の運営については、募集期間及び審査基準を設け、運営の見直しが必要である。</p>
五味アドバイザー	「要改善」	<p>事業展開に対する補助金については、終期を設定し、その一定期間の事業について効果と問題点を検証し、続けるべきか、廃止するべきか選別するべきである。</p> <p>当事業の目的が海外取引の拡大による県内産業の振興ということなので、展示会での成約件数を1年後までのみの追跡ではなく、補助先のその後の海外取引の状況を追跡する必要がある。やまなし産業支援機構の業務上も補助対象者の動向、その後の動向を把握する上でもいい機会になるのではないかと。</p> <p>また複数回の利用が可能な事業ということだが、利用者が予算を上回る状況になった場合には、2回目以降の補助金を減額するなど様々な検討が必要である。</p>
諸平アドバイザー	「要改善」	<p>継続して出展する企業への採択基準など、予算ありきの出展にならないようにするべきである。終期を設定して、見直しを行って頂きたい。</p>

